

【令和7年度 生活支援体制整備事業に係る取組み予定について】

総合事業の改正を考慮し、『多様なサービス・活動の事業化』に向けて

第1層生活支援コーディネーター(社協)新規委託内容

高齢者の支援ニーズや関心事等に関する調査・地域における多様な主体の活動の情報収集・調査及び可視化の実施

改めて調査を実施し、実態を把握に努め、今後の生活支援の取組みについて検討する

A. 調査内容1. **高齢者**

(1) 高齢者の困りごと

移動支援・付き添い・通いの場・掃除・買物・料理・見守り・ゴミ捨て・庭の手入れ
ペットの世話・・・

(2) 高齢者の関心事

<高齢者の関心事>

高齢者の困りごとだけでなく、支え手となり得ることや、社会参加、就労的活動等につなげる要素を探る

項目例

・地域活動・宗教活動 ・生涯学習・歴史的な関心
・俳句・書道・茶道・華道 ・美術活動
・写真 ・パソコン ・演奏・音楽活動
・将棋・囲碁・ゲーム ・散歩 ・スポーツ・ダンス
・競馬・競輪・競艇・パチンコ ・手芸
・菜園・栽培

2. **ケアマネジャー**の「法定業務以外」で対応せざるを得ない状況がある実態
⇒本来は、どうあるべきなのか

分類

- ◎保険外サービスとして対応
- ◎他機関へつなぐべき業務
- ◎対応困難な業務

【かつて、「地域支え合い推進協議会」で取り扱った経緯あり】

“高齢者相談センターや担当ケアマネジャーが、直接対応せざるを得ないケースは、他の方法で、対応ができる可能性があるのか。改善点や、資源開拓の余地はあるのか。”

* 実際に対応している事案は・・・以下のように整理された

＜ 人員確保の問題 ・ 金銭的負担の問題 ・ キーパーソン不在の問題 ＞

- ・ 突発的な事項(緊急性がある場合)
- ・ 制度につながる前のケース
- ・ 金銭的余裕のないケース
- ・ 親族による契約や、支援者がいないケース

＜ケアマネジャーの法定業務以外の対応の実態＞

高齢者のニーズで、(介護保険等)制度でカバーできていない内容の洗い出しにより、地域住民等の活動で、仕組みづくりを創出できるものを探る

項目例

- ・救急搬送時対応 受診同行 入院時の支度
- ・書類の代筆・提出
- ・預貯金の引き出し ・利用料金、光熱費等の支払い手続き
- ・利用時の不在の確認、安否確認 ・死後事務の一部

3. 資源

* 第1層SCとともに、各圏域の資源の把握については、第2層SCと連携して動く。

○民間企業等

市内の民間企業等の「生活支援」「介護予防」「社会参加」等に関する取り組み、事業の資源の存在の確認

○住民主体

(同上)

＜高齢者の生活に関わる多様な主体＞ 定期・不定期

困っている人、社会参加をしたい人等の取組とのマッチングに活かす
資源の把握をし、可視化を目指す

項目例

- ・移動支援： 公共交通と、それ以外の移動手段の関連
[ハッピーバス・福祉センター巡回バス・]
- ・訪問販売： とくし丸・八百屋・魚屋・パン屋
- ・社会教育・生涯学習の場
- ・環境整備に関する活動： 町会、有志等の顕著な活動
- ・健康増進・介護予防・スポーツ活動
- ・交流の場
- ・就業に近い活動・社会参加

B. 可視化

有効な資源の情報のまとめ、成果物作成